

令和8年度農作物病虫害発生予察注意報第1号

令和8年4月30日
山口県病虫害防除所

病虫害名 果樹カメムシ類
(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)
対象作物 ナシ、モモ、リンゴ、ウメ、カンキツ、ビワ等果樹全般

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 5月～7月

3 注意報発令の根拠

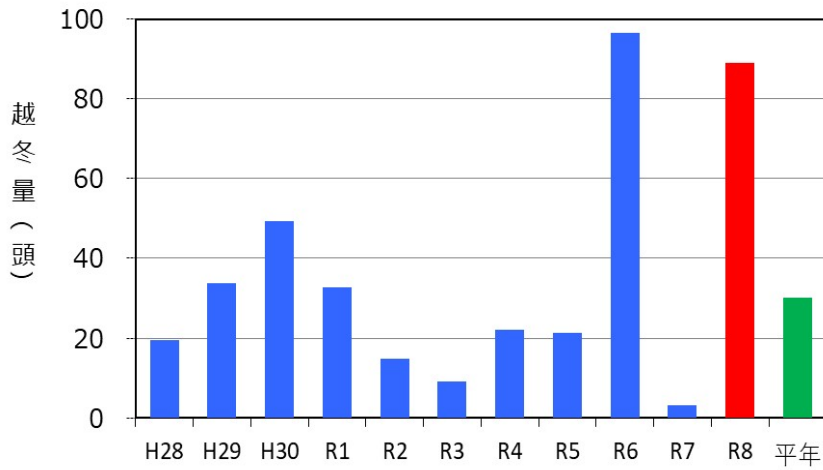
- (1) クサギカメムシの隙間トラップによる越冬量調査(県内10か所)では、1トラップ当たり88.9頭(平年30.2頭)で、平年に比べ多かった(図1)。
- (2) 4月1日～20日の予察灯における果樹カメムシ類3種の捕獲数(県内3か所合計)は13頭(平年1.3頭)で、平年に比べ多かった(図2)。
- (3) ナシ、ビワへの果樹カメムシ類の飛来がすでに認められている。
- (4) 4月23日に福岡管区气象台より発表された向こう1か月の気象予報では、九州北部地方の気温は高いとされており、発生時期は平年に比べ早まると予想される。

4 防除対策

- (1) 飛来時期や量は地域や園地による差が大きいため、夜間の園周辺の外灯確認や過去の被害状況をもとに、飛来を確認したら速やかに薬剤散布を行う。
- (2) 施設栽培では4mm目以下のネットで侵入防止対策、無袋栽培では地域一斉の薬剤散布で防除効果を高める。
- (3) カンキツでは、開花期や幼果時期にも吸汁被害が発生することがあるため注意する。
- (4) 薬剤散布後も園内を観察し、再度飛来を確認した場合は、追加の散布を行う。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 本年は早くからカメムシ類防除が必要となる可能性があるため、薬剤選定をする際は使用回数に留意すること。
- (2) 薬剤散布の際は、農薬使用基準を遵守し、周辺作物への飛散を防止するとともにミツバチ等に危害を及ぼすことがないように十分注意する。



隙間トラップ内のクサギカメムシ

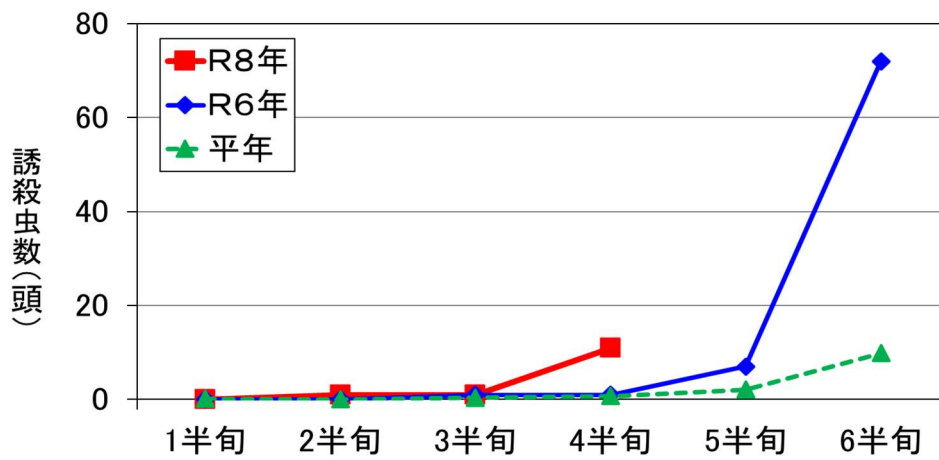


図2 4月の果樹カメムシ類の予察灯誘殺数(県内3か所合計)



チャバネアオカメムシ



ツヤアオカメムシ



クサギカメムシ



ナシの被害



モモの被害